

I. 平成30年度の実績

グループ名称	瀬戸内エコ住宅評議会				
H30採択グループ番号	07	—	0542	—	0653

A H30年度にグループとして力を入れた取組み

内容	・瀬戸内エリアは概して温暖だが、寒暖差が大きいことから、ヒートショックを回避することなどを目的として断熱性能を重視し、平成25年度省エネ基準の断熱等性能等級基準以上と致しました。 ・巨大地震の可能性のある為、耐震性能を重視し、長寿命型以外についても耐震等級2相当の地震に強い家造りを啓蒙、推奨致しました。
----	---

B 各種説明会・研修会の実施について

① 事業	事業実施説明会	無	開催日		名称			
	内容							
② 消費者	消費者説明会 1	無	開催日		名称			
	内容							
	消費者説明会 2		開催日		名称			
	内容							
③ 工務店	工務店研修会 1	有	開催日	2018/11/07	名称	高松 省エネ講習会	タイプ	座学 ●
	工務店研修会 2	有	開催日	2018/11/08	名称	徳島 省エネ講習会	タイプ	座学 ●
	工務店研修会 3	有	開催日	2019/02/01	名称	住まいの耐震博覧会視察	タイプ	実習 ●
	工務店研修会 4	有	開催日	2019/02/02	名称	藤沢SST視察	タイプ	実習 ●
	工務店研修会 5		開催日		名称		タイプ	

C 未経験工務店へのサポートの実施について

取組み①	サポートの有無 1	有						●
	内容	外皮計算の方法が分からない工務店に対して、計算方法の指導や申請の代行を請け負うシステムの準備をした。						
取組み②	サポートの有無 2	有						●
	内容	BELS取得の申請代行を請け負うシステムの準備をした。						
取組み③	サポートの有無 3							
	内容							

D 住宅履歴情報の蓄積について

① 履歴情報預り証の発行件数	発行済	0	発行予定	0
② 住宅履歴情報の保管先	情報サービス機関	機関名	いえかるて正会員である第三者機関	

E 工務店の廃業時のバックアップ体制について

① 施工構成員の廃業に対する体制	有	
内容	倒産廃業時には代替履行业者をグループ理事会にて斡旋する。	
② H30年度における施工構成員の廃業	無	
対応内容		

F 住宅の省エネルギー化に向けた取組み

省エネ化に対する取組 ①	有	
内容	グループとして研修会を開催し、全構成員が外皮計算、一次消費エネルギー量計算等、平成25年省エネ基準に対応できるように推進する。	
省エネ化に対する取組 ②		
内容		
BELS工務店の登録数	7 社	

I. 平成31年度の取組みの計画

(1) グループの信頼性と技術力の向上に向けた取組みの計画

グループ名称	瀬戸内エコ住宅評議会				
H30採択グループ番号	07	—	0542	—	0653

A 各種説明会・研修会の実施について

① 事業	事業実施説明会	有	開催日	2019/07/25	名称	瀬戸内エコ住宅評議会事業計画説明会		
	内容	平成30年度活動内容報告、平成31年度補助金配分説明、平成31年度研修会等年間予定発表、等						
② 消費者	消費者説明会 1	有	開催日	2019/08/24	名称	お施主様向けZEH説明会		
	内容	水廻りメーカーSRの会議室を使って、各工務店に施主様を集めてもらい、施主様向けのZEHセミナーを開催する。						
	消費者説明会 2		開催日		名称			
	内容							
③ 工務店	工務店研修会 1	有	開催日	2019/06/04	名称	すてき信頼リフォーム推進協会 ガイダンス研修会	タイプ	座学
	工務店研修会 2		開催日		名称		タイプ	
	工務店研修会 3		開催日		名称		タイプ	
	工務店研修会 4		開催日		名称		タイプ	
	工務店研修会 5		開催日		名称		タイプ	

B 未経験工務店へのサポートの実施について

取組み①	サポートの有無 1	有						
	内容	外皮計算の方法が分からない工務店に対して、計算方法の指導や申請の代行を請け負うシステムの準備をしている						
取組み②	サポートの有無 2	有						
	内容	BELS取得の申請代行を請け負うシステムの準備をしている。						
取組み③	サポートの有無 3	有						
	内容							

C 住宅履歴情報の蓄積について

住宅履歴情報の保管先	情報サービス機関	機関名	いえかるて正会員である第三者機関
------------	----------	-----	------------------

D 工務店の廃業時のバックアップ体制について

① 施工構成員の廃業に対する体制	有						
内容	倒産廃業時には代替履行业者をグループ理事会にて斡旋する。						

E 住宅の省エネルギー化に向けた取組み

省エネ化に対する取組み (新築)	有						
内容	グループとして研修会を開催し、全構成員が外皮計算、一次消費エネルギー量計算等、平成25年省エネ基準に対応できるように推進する。						
省エネ化に対する取組み (改修)	有						
内容	リフォームに於いても新築の平成25年省エネ基準を推進する。						

F 省エネ改修に関する研修の計画

研修計画 ①	有	実施日	2019/10/04				
内容	これまで団体として取り組んでこなかった省エネ改修に関する基本知識を学ぶ研修会を事務局として計画、実施する。						
研修計画 ②		実施日					
内容							

Ⅱ. 平成31年度の取組みの計画

(2) 地域型住宅及び生産体制の整備に関する計画

グループ名称	瀬戸内エコ住宅評議会			
H30採択グループ番号	07	—	0542	— 0653

A 提案する地域型住宅の特徴

内容	<p>・温暖・少雨・日照時間が長い穏やかな気候であり、夏季の日差し、特に西日の強さは厳しいものがある為、西日対策として、西面の開口部には庇、またはシェード(窓全体を覆う布製の日よけ)、レースカーテン用のカーテンレールのいずれかの設置した住宅。又、西側窓についてはLow-eガラスの採用を積極的に取り入れた住宅。</p> <p>・「瀬戸の夕凧」という言葉があるように夏季の夕方には風がなく、蒸し暑く不快となることも多く、香川県では熱中症による死亡率が全国ワースト上位にある。そのため夏季夕刻の蒸し暑さ対策として、主たる居室に於いて2方向通風を取れるよう開口部を設置した住宅。</p>
----	--

B 地域材の利用に関する共通ルール

①-1 1棟当たりの主要構造材地域材の使用割合	50%未満	50%以上	■	80%以上
①-2 地域材の使用部位	② 地域材の利用に関する補足説明			
主要構造材	土台	有	次の認証制度を利用する。 土台:合法木材証明制度(国外)(国内) 柱:合法木材証明制度(国外)(国内) 梁・桁:合法木材証明制度(国外)(国内)	
	柱	有		
	梁・桁等の横架材等	有		
羽柄材	間柱、根太、垂木等	無		
造作材	枠材、廻縁等	無		
板材	壁板、床板等	無		

C 生産体制の整備と生産性向上に向けた取組み

① 地域材の調達共同化に向けた取組み	有	
内容	地域材の品質の標準化を行う為、合法木材証明制度に基づく製材所を構成員とし、共同にて調達する。	
② 建材・特定資材の調達共同化に向けた取組み	有	
内容	省エネ機器を中心に、メーカーとシリーズを決め一括交渉によりコストを低減する。	
③ 地域材・建材・資材の在庫供給情報の共有化	有	
内容	・地域材の在庫量・価格情報について構成員間の情報交換を四半期毎に行う。 ・建材の在庫状況を一覧にした在庫表を四半期毎に配布する。	
④ 施工に関する統一ルール	有	
内容	外壁と躯体の間に通気層を設け、防湿効果を高め住宅の寿命を延ばす。	
⑤ 住宅のメンテナンスに関する統一ルール	有	
内容	補修時には作業前後の写真を撮影し、履歴情報に蓄積する。	
⑥ 施工検査(瑕疵担保責任保険の検査以外)	有	
内容	各施工構成員の自主検査の実施を促す。	
⑦ 見積りに関する統一ルール	有	
内容	お施主様に分かりやすい、業界用語を用いない見積書(品番、メーカー、定価表示等)を提供できるように、雛型を団体で作成してグループ内での使用を推進する。	
⑧ その他の共通ルール	有	
内容	街並みの連続性や周辺建築物と調和したデザイン、配置などを考慮する。	

D 効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備に対する取組み

① 週休2日制の導入の取組	無	内容	
② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	無	内容	
③ 社会保険への加入	有	内容	社会保険への加入の奨励を行う。
④ 建設工事従事者の安全及び健康の確保のための取組	有	内容	職場環境整備を促し、安全・健康に常に取り組むことを助成する。

Ⅱ. 平成31年度の取組みの計画

(3) 地域の産業・住文化・景観等に関連する計画

グループ名称	瀬戸内エコ住宅評議会				
H30採択グループ番号	07	—	0542	—	0653

A 地域の産業・住文化・景観等、和の住まいの取組みに関する対応

① 畳の活用	有	内容	国産のイグサを用いた本畳の使用を積極的に住まい手に提案する。
② 和瓦の活用	有	内容	和瓦の歴史のあるエリアにつき、地域ブランド瓦を積極的に提案する。
③ 襖・障子の活用	無	内容	
④ 地域の伝統的素材の活用	無	内容	

B 地域の住文化に関する取組み

① 地域の伝統的なデザインの継承	無	内容	
② 地域の住まい方の継承	有	内容	降水量の少ないエリアの為、雨水タンク、節水水栓、節水トイレのいずれかを採用し、節水に努める取り組みを行う。
③ 地域の街並み形成への配慮	有	内容	建築物の素材に木、石、土等自然素材又は自然素材を感じさせる素材の使用を推奨する。

C 被災地の復興に資する取組み

① 東日本大震災・平成28年熊本地震・平成30年7月豪雨・平成30年北海道胆振東部地震の復興に資する取組み
被災地の合板や内装木材の活用をグループ内で検討する。
② 地域型住宅の供給地域において災害等が発生した場合に検討している取組み
災害時に於いても相互協力体制を確立し、川上から川下が連携して住宅供給を行う。